

2018年10月23日 第1版

(臨床研究に関する公開情報)

姫路医療センターでは、下記の臨床研究のため、国立研究開発法人国立がん研究センターへ情報の提供を行います。

〔研究課題名〕 院内がん登録を活用した胸膜プラークを持つ肺がん患者の実態調査

〔研究代表者〕 国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター
センター長 東尚弘

〔研究の背景〕

本研究（調査）は環境省の「平成30年度がん登録を活用した石綿健康被害救済制度周知方法等の検討に係る調査業務」の一部として実施されます。石綿の曝露が悪性中皮腫の発症に関与していることは一般的に知られていますが、肺がんのリスクの上昇することはあまり知られていません。石綿による肺がんとして救済対象となる者のうち制度を利用していない肺がん患者が相当いると想定されますが、日本における石綿による肺がん患者の推計を行った調査は見当たりません。そこで、本研究（調査）では院内がん登録情報から無作為に肺がん患者を抽出し、当該肺がん患者の診断時胸部CT情報から、救済制度の認定基準の胸膜プラークの有無を判定することで、調査対象肺がん患者における石綿による肺がん患者の割合を推計します。また、施設特性や地域ごとに石綿による肺がん患者の分布の特徴を把握します。この調査結果は、救済制度の周知方法を検討するときの情報の一つとして環境省石綿健康被害対策室に報告されます。

〔研究の目的〕

院内がん登録に登録された肺がん患者を無作為に抽出し、診断時のCT画像の読影によって救済制度認定基準を満たす胸膜プラークの有無を判定し、調査対象肺がん患者における石綿による肺がん患者の割合を推計します。また、石綿肺がん患者の分布における施設特性および地域特性を把握します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当施設において2016年に診断され、院内がん登録に登録された肺がん患者のうち、無作為に抽出された方10名

●研究期間：2018年10月23日から2019年6月20日

●利用するカルテ情報：胸部CT画像

●情報の管理

胸部CT画像は、指定のCD-Rに複写し、研究代表者機関である国立研究開発法人国立がん研究センターへ提出され、読影が行われます。情報は、研究代表機関において研究結果報告後10年まで適切に管理・保管されます。

[試料・情報を利用する者の範囲]

●研究代表者（研究の全体の責任者）：国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター長 東尚弘

●その他の提供先機関：なし

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、がん登録の際に付与されたがん登録番号を使用します。また、がん登録番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の管理責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、管理責任者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の管理責任者及び情報の提供先である国立研究開発法人国立がん研究センターが責任をもって適切に管理いたします。研究結果は関係省庁、調査に協力した医療機関に対して送付されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●本研究（調査）に関する問合せ窓口

国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター
「院内がん登録を活用した胸膜ブランクを持つ肺がん患者の実態調査」

調査事務局

担当：新野真理子

電話03-3547-5201（内線：1604）

●当院担当者

国立病院機構 姫路医療センター

事務部企画課 診療情報管理士 平岡紀代美

電話079-225-3211（内線：235）